



愛労連第25回定期大会(サン笠寺)

愛 労 連

愛知県労働組合総連合

名古屋市熱田区沢下町9-7
労働会館東館3F
TEL 052-871-5433
FAX 052-871-5618
e-mail post@airoren.gr.jp
ホームページ http://www.airoren.gr.jp
発行人 樽松 佐一

第98号 2001年7月20日

労働者の過半数めざし

働くルール署名スタート!

大会では働くルール署名を、この秋から三年間で、愛知の労働者過半数をめざし取り組むことを決めました。署名には三つの項目がありますが、今回は労働者の五分の一といわれるパート労働者など不定雇用労働者について考えます。

組合でたたかっていた改善させてきたが

全体の底あげがないと

パートの賃金よくならない

「リストラされて専従になつて」と名動生協労組パート部長安藤鈴枝さん



雇用形態が多様化し、パート・派遣など不安定労働者が増え続け、全雇用労働者の約五分の一にもなっています。しかし賃金・労働条件はきわめて劣悪です。愛労連が2001年春闘で取り組んだ「パートなど働くみんなの要求アンケート」の集約結果を見ても、週の労働時間は、35時間以上が25・4%、40時間以上が30・0%と合わせて55%が正規労働者と変わらない労働時間なのに、賃金時間額は、800円台が23・3%、1000円台までが、約半数を占めています。

正規とパートの壁にいきり

名動生協労働組合パート部長の安藤鈴枝さんは、パート



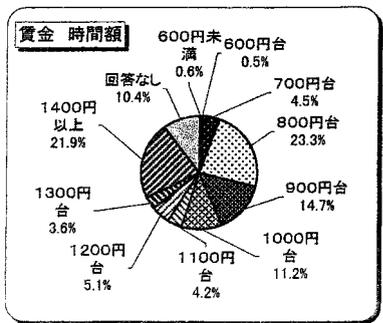
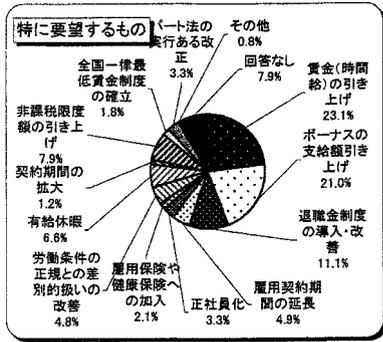
全労働が働くルール署名行動(6月23日 栄)
青年女性部の120人が元気に訴え

運動の広がりに確信を

愛労連第25回定期大会

愛労連は第25回定期大会を、名古屋市南区のサン笠寺を、サンホールで開催しました。冒頭阿部議長は、「この一年間、リストラの嵐の中、三菱自動車、商社など、労働組合の枠を超えた運動が前進し、税金の使い方の流れを変

2001年パートで働く仲間の要求アンケート (2001年7月3日現在)



パート労働者として長年名動生協で働いてきました。組合を結成する一〇年前は、職場によってパートの扱いも違っていました。たかいたの中で、時間給の引き上げ(最低でも八二五円以上)や労働条件の改善を勝ち取ってきたましたが、正規とパートの壁は大きく、矛盾を感じています。この五月に店舗で二番目に古い猪子石店が不況で閉鎖されました。悔しいこと

均等待遇実現したい

頑張っている組合ですが交渉の時には、「あなた達

パートには全員解雇予告が出されました。教育費やローンを抱えている仲間が

「最低賃金額の引き上げやパートの均等待遇は実現したい」と思っています。

は地域のパートより恵まれている」と比較され、思うように時給もあがりません。「自分のところだけではダメ。やっぱり全体がよくならない」と思っています。

パートの時給

MAPでお知らせ

千種・名東労連

二〇〇一年春闘で「誰でも時給一〇〇〇円」要求を取り組むことになりました。



名東区版時給マップ (裏面は労働相談110番のお知らせ)

した。私たちが働いている千種・名東労連は、商業地域と住宅地域が混在しています。パートの人たちも多く、パート労組に対する時給が高いとの意見(攻撃)もあり、本当にそんなのか? 地域の実態を調査しようと言つことになりました。そこで「時給調査・対話シート」(アンケート)の取り組み、求人雑誌、新聞折込チラシなど約半年間にわたって調査しました。その結果を、誰でもどこでも時給一〇〇〇円以上にと訴えた時給MAP(名東大阪労連のチラシを参考にします)。

千種名東労連

浅見 忠夫

7月29日は参議院選挙投票日

必ず投票に行こう

①解雇規制法の法制化②賃金の底上げ、パートの均等待遇③サービス残業根絶・労働時間短縮

働くルールの確立めざし総対話と共同を広げよう

大会では、24名の代議員の発言がありました。厳しい情勢の中でも、労働者の要求をかかげ、たまたかう発言がめだちました。また、地域からは10年を経た地域労連の発展・強化へのとりくみが強調されました。

地域労連の実態把握し対応を



武藤代議員 (中地域)

二五の地域労連の中でも全部が機能しているわけではない。一二年大会が開かれていない地域もある。役員が選出できない、財政的に厳しいなど、いろいろな問題を抱えている。名中センターでも単産や分全金がなく一〇〇円の組合費が払えない。専従も後一三年で財政的保障がなくなる。頼りになる地域労連へ駆け込み寺としての地域労連にするために、実態を把握し愛労連としての早急な対策を。

地域で共同広げ多様な運動を



原田代議員 (東三河労連)

この一〇年で大きな財産ができたが残された課題も大きい。一〇年前の初心にもどり、各組合でも地域労連強化の議論。東三河労連は、教科書問題、市町村

未加盟労組との対話を



桜井代議員 (西三南労連)

役員も替わり結成当時の熱気も変わってきた。単産と愛労連に改めて、地域への支援を、お願いしたい。10・3総行動で働くルール署名の地域の過半数組合への申し入れが提起された。西三河ではトヨタ関連の会社八割方なので行ってもあしからぬだけ。それよりも隊列に迎えるべき仲間が四千人以上いる。その仲間と対話することの方が重要。総行動は名高教・国労にも呼びかけてやりたい。

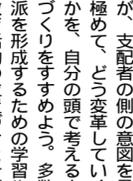
共済の活用で未組織の組織化を



大平代議員 (JMIU)

最近の労働相談はすぐに争議につながる。各単産の力量を超えている。愛労連全体で対応できるように考えて欲しい。共済運動は労働者の連帯運動。この法律的な裏付けを持つ労働者の共済活動を広げ、未組織の組織化にも活用して欲しい。

学習活動や幹部育成を



駒田代議員 (年金者組合)

小泉人気は相変わらずだが、支配者の側の意図を見極めて、どう変革していくかを、自分の頭で考える人づくりをすすめる。多数派を形成するための学習や教育活動の位置づけと計画的な動きかけが必要。

職場・地域で要求実現の闘いを広げ

10万人愛労連へ

批判があるが、制度改善の中心は大企業本位の行政をすすめる国家権力に忠実な公務員づくりをする。これが通れば、国家公務員から地方公務員へ、物言わぬ職場づくりが広がり、労働組合自身の切り崩しにもなる。難しい内容だが地域と一緒に学習を進めたい。

検査、保育、給食の外部委託化や退職不補充が進んでいる。南生協では、退職金の大幅カット、定昇五〇歳で廃止、福利厚生など二〇項目の見直しを飲まなければ定昇ストップ。夏期一時金も出さない。社会保障制度改善の運動と共に安心・安全な医療を守って

上げてきている。教科書が出てきた背景を分析し、草の根の動きをみすえたたたかいが必要。教員のみでなく地域との共同の運動が必要。

東海銀行のリストアップ計画と職場の実態

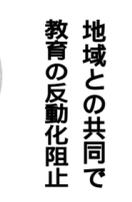
医療制度の改善で労働条件を守る



原代議員 (医労連)

医療改善により病院経営が悪化、職員の賃金、労働条件が悪化している。名南病院では投資拡大で、組合に相談もなく勝手に人員削減。港生協も新築移転で

地域との共同で教育の反動化阻止



高須代議員 (愛高教)

新しい歴史教科書を手にもたしに渡すわけにはいかない。修正をのんだが基本的主張は変化ない。その主張は戦争への非難や反省をめぐり去り解放する思想。戦後の五〇年を一気に否定し、神話を復活し、天皇を中心とする国家思想を国民に押しつけるもの。草の根の保守の動きが活発だが、我々の側も、市民の会、をたちあげ運動を広

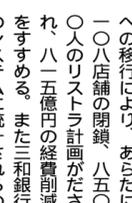
民営化する福祉の職場実態



岡崎代議員 (福保労)

社会福祉は二〇〇三年から措置制度が撤廃される。いま保育待機児が三万三千人といわれるが、待機児童解消という名目で民間委託がすすんでいて。三企業では公立保育所が民間企業に丸ごと委託され、コストは三分の一。職員は一年契約の不安定雇用だ。名古屋市の定める規制緩和がさぐれ、昼寝の場所が足りなくなり、廊下まで寝かせている実態がある。仕事・職場実態を届ける一万人レポート、福祉ワーキングの運動もとりくみたい。

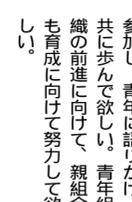
東海銀行のリストアップ計画と職場の実態



金子代議員 (銀産労)

東海銀行ではU.F.J銀行への移行により、あちこちに一〇八店舗の閉鎖、八五〇〇人のリストアップ計画がたされ、八二五億円の経費削減をすすめる。また三和銀行のシステムに統一されるので三和の支店で研修を受けており、遠い人は千葉県まで行っている。退職者が急増する中で、研修なのでC/Dを持ち帰り勉強している。大変な労働強化だ。

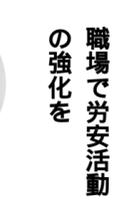
最低保障年金制度の創設を



中川代議員 (年金者組合)

進め検討していきます。10・3秋の総行動について、単産と地域でよく議論をお願いします。九月八日の賃金闘争については要求を出すこと自体がたたかいだ。このうち健康のたたかいについては愛知健康センターと相談してすすめるのが職場を基礎にした活動の推進

職場で労安活動の強化を



三栄代議員 (愛高教)

用で担当者もリストアップしてこころ変わる。この八月に五四五億円の特別損出を計上するがその一部に労働権をいれさせて早急に解決させたい。全国一般では春闘に中小企業活動を取り組んだ。東郷町では二軒が話を聞いてくれた。景気の悪化や単産の切り下げなどで苦しんでいる。これからも活動を続けるが愛労連としても取り組めたい。

中小企業訪問を取り組んで



加藤代議員 (全国一般)

不安定雇用労働者は要求を持つことがたいたい。学童保育支部では二万四千円の賃上げ要求についてケンケンガクガクの討議をした。指導員は大卒一〇年で二〇万円そこそ。初任給は二四万円。民主同盟の学童保育所は、公費助成が三割しかなく、要求を出す親からならまれる。名古屋市長選挙では、市の借入金払いの一部を崩せば助成金は増やせるとがんばった。しかし要求を手控えたところは市長選挙もがんばれなかった。要求を持つことを励ます役員の姿勢が大切な。高級官僚への厳しい国民の

要求を堅持してたたかおう



角田代議員 (建交労)

名古屋市長選挙の総括をした。市政に対する要求の弱さがあった。革新市政以降に入つた職員が多くなっている。市選挙では、自らの労働条件の改善と市民本位の仕事ができるかの二点を重視してたたかってきた。市長選挙前の税金の支払い方を問う直接請求者運動は、組合員一八〇〇名が受診者になった。市政への要求がハッキリした保母や看護婦はよれたたがった。愛労連としても要求をハッキリさせた方がいい。重要だ。県知事選挙に向けて教訓を生かしたい。

要求を明確にし選挙戦を



中川代議員 (自治労連)

長の間、大変お世話になりました。心からお礼申し上げます。一九八九年十一月、方針や運動方向が鮮やかな対象を見せました。その後の一〇年間の歴史は、労働者をめぐる情勢のきびしさの反映でもあります。反動姿勢と言われる逆風の中で意欲的にたたかい抜いた仲間たち。顔や感動的な場面が今でも鮮明に思い出されます。

もの言わぬ公務員づくり狙う



伊藤代議員 (愛知国公)

公務員制度の改善が来年の通常国会で審議される。KSD疑義や機密費など高級官僚への厳しい国民の

大会発言者の紹介

原代議員 医労連 黒島代議員 全国一般・大平代議員 JMIU 武藤代議員 中地域センター 原田代議員 東三河労連 谷藤代議員 建交労 三栄代議員 愛高教 新村代議員 富山労連 桜井代議員 西三河労連 金子代議員 銀産労 森田代議員 自衛隊労連 笹原特別代議員 青年協 田代議員 年金者組合 近藤代議員 映産労 加藤代議員 (全国一般) 中川代議員 自治労連 伊藤特別代議員 福保代議員 愛高教 寺部代議員 岡崎代議員 福保代議員 年金者組合 角田代議員 建交労

みんなが参加できる活動の工夫を



伊藤特別代議員 (婦人協)

はたらく女性の集まりは、行委員会と合同で県、国への要請行動を取り組んだ。愛商連女性部からは、視点が広がって一緒にやってくれたと言われた。セクハラ一〇番も婦人協で取り組んだ意義があった。また、市長選挙では名古屋市長選挙女性部が、組合員みんなが参加できる工夫をした。幹部はみんなが参加できる活動の提起を。

青年協の育成・強化について



笹原特別代議員 (青年協)

青年部活動のすすめ方や親組合に対する思いをセミナーで話しあう。今回はブレ企画も持つ。青年だけでなく親組合の役員も参加して、青年に語りかけ、共に歩んで欲しい。青年組織の前進に向けて、親組合も育成に向けて努力して欲しい。

発言を受けて秋闘で具体化

対策委員会での議論も含め、今以上にどう対応ができるか検討していきます。いのちと健康のたたかいについては愛知健康センターと相談してすすめるのが職場を基礎にした活動の推進

議論のまとめ

全体で二四人の発言がありました。三つの点でまとめます。一つは働くルールの問題について、全国一般 JMIU などから深刻化する労働



根を越えたい。運動を広げていきます。三つ目は組織強化・拡大。地域労連からは地域の組織強化や財政的援助について、また単産からは組織拡大への財政的援助や共済金の位置づけについて発言がありました。いずれも総合的な検討が必要なので、組織強化検討委員会での討議にゆだねます。

退任にあたって



阿部 精六 (前愛労連議長)

長級のナショナルセンター、全労連やローカルセンター、愛労連の確立へ。そして結成から創生期をおして、反動姿勢と言われる逆風の中で意欲的にたたかい抜いた仲間たち。顔や感動的な場面が今でも鮮明に思い出されます。

はばたけ愛労連

線は再編をめぐるとも、輝く二世紀の実現にむけ、大いに羽ばたかせました。それは上からの選別結果の押しつけであり、反共と労使協調への屈服。そしてこれまで日本の労働運動が築いてきた積極的伝統のすての放棄を強要するものでした。統一労組懇談会から階級

愛労連2002年度役員

議長	見崎 徳弘 (愛高教)
副議長	伊豆原 直 (自治労連愛知県本部)
	小松 孝二 (愛知国公)
	小松 克明 (自治労連愛知県本部)
	羽根 茂 (尾中地区労連)
	平田 茂 (尾中地区労連)
	木野 亮 (自治労連愛知県本部)
	柿内 公子 (婦人協自治労連本部)
	樽松 佐一 (生協労連愛知県協議会)
事務局次長	伊藤むつ子 (自治労連愛知県本部)
事務局次長	吉良多喜夫 (自治労連愛知県本部)
事務局次長	板倉 邦之 (自治労連愛知県本部)
	牛田 正美 (全印総連愛知地連)
	梅野 敏基 (自治労連愛知県本部)
	太田 孝雄 (タクシー協議会)
	尾崎 吉政 (東三河労連)
	小野 弘政 (建交労連名古屋支部)
	木村 春信 (建交労連愛知県本部)
	河井 孝徳 (愛知地域労組きずな)
	国村 忠文 (全国一般愛知地方本部)
	近藤 啓志 (愛高教)
	杉江 功 (知多地域労連)
	空 直樹 (愛知国公)
	竹内 創 (愛労連職員労組)
	田中 道代 (愛労連職員労組)
	玉置 重光 (千種・名東労連)
	戸軽 佳代 (婦人協(愛高教))
	仲野 智 (福保労連東海地方本部)
	原田 敏之 (名古屋金属愛知地方本部)
	堀 勝 (名古屋中地域センター)
会計監査	竹内 武弘 (銀産労)
	林 義博 (名南地域労連)
	牧野 浩 (愛知国公)
	阿部 精六 (愛労連前議長)
退任された役員のみなさん	
副議長	土井照雄 (港地区労連、渡辺博子(婦人協))
幹事	永井和彦 (自治労連)、青木信一 (建交労)、中山重隆 (愛知国公)、安藤明日香 (婦人協)、伊佐治修 (青年協)、坂崎進 (愛労連前副議長)

生徒に歴史の真実を教えていきたい

名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟にかかわって



名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟を支援する会代表世話人 高橋 信さん（愛高教）

再びあの時代にもどさせない

朝鮮人強制連行の問題に関わっているのは、「教子を再び戦場に送らない」という教師としてのわたしの出発点です。

赴任先の高校が春日井（王子製紙の敷地は元陸軍工匠）や愛知機械、愛知時計など軍需工場がたくさんあった熱田区だったこともあり、戦争体験を掘り起こしていこうという思いもありました。一九八七年に仲

がクローズアップされた頃です。

戦後五〇年 苦しみの未提訴

彼女達の話には、胸が締めつけられました。「小学校の先生に、名古屋に行けば女学校にも行けるし、お金も稼げるよと言われ、親の反対を押し切つて日本にきました……」

少女たち約三〇〇人は、「女子勤労挺身隊」の名で、朝鮮半島から名古屋の三菱重工に、人手不足を補う手段として連れてこられました。現実には、思い描いた女学校どころか、給料も支払われず、まともな飯も与えられないまま過酷な強制労働でした。

戦後朝鮮半島に帰ってからも悲惨でした。彼女たち勤労挺身隊は従軍慰安婦と

同様に見られ、身内や友人にも事実を語る事ができませんでした。話せばたちまち、破談・離婚でした。戦後五〇年長い苦しみの末、心の底に封じ込めていた悔しさを今、「もう失うものはなにもない」と裁判を決意したのでした。

彼女たちの意を受けて私たちも準備をし、三月一日、朝鮮半島の独立記念日に日本政府と三菱に対して、「事実を認め、謝罪と保障」を求めた裁判を名古屋地方裁判所に提訴しました。

裁判は二年目になります。国は戦前の問題は新憲法では責任をとらないと言いつつ、三菱は戦前とは別会社だと逃げています。

歴史の真実を伝えることが平和を守る

小泉首相の靖国神社公式裁判所前にて署名提出をする支援者の仲間



（お話を聞いて、編集部がまとめました。）

登山のすすめ 心はずむ 未知との出会い



土井照雄 港地区労

登山の楽しさは美しい景色にどきどき出会う、心の中を清水が流れる思いが得られることです。

しかも、その景色は毎回変わる。朝と夕方と違う。春と夏と秋、さらに冬では全然違います。もしかしたら、自分しか見たことがない未知との出会いがあります。逆に毎回違う危険も待ち受けています。

もう一つ、私が好きなのは登山は平等で金持ちも貧乏人も同じ努力が必要で、一歩一歩の積み重ねで、男も女も同じ努力をすれば素晴らしい景色を自分の

燕岳(2763M) 燕山荘で飲むビール最高!

私がすすめる夏山は、燕岳2763Mです。急な登りが続きますが、登山道はビックリするほど整備され、危険なところもありません。登山入り口には中房温泉郷があり、合戦小屋には一度食べた忘れられない西瓜があり、燕山荘はきれいな山荘で生ビールが最高です。

愛知には東海自然歩道があり、特に奥三河の鳳来寺山、裏谷原生林、足助までは最高です。コース周辺の民宿温泉に泊まり、山間のくらし、その地域のおばさんと対話して下さい。必ず新しい発想、発見があります。

コース

松本から大系線三〇分、種高駅へタクシーで四〇分、中房温泉登山口へ。三時間合戦小屋、燕山荘、燕岳、帰りは約三時間で中房温泉へ



支援ありがとう

これからもがんばります

総合商社ニチメンは名古屋支社廃止にもない女性職員をねらいうちに退社・転職強要をしました。

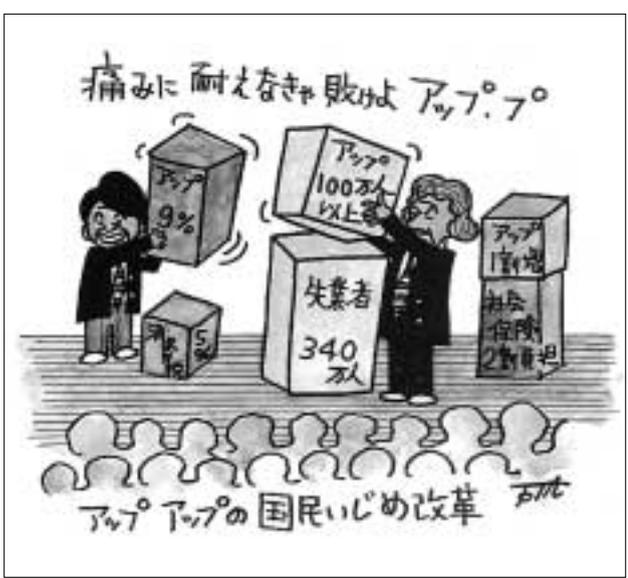
これに対し石原愛子さんと伊藤たえ子さんが拒否したこと、会社は二人に自宅研修を命じていました。

ニチメン・石原さん・伊藤さん 職場復帰

二人は会社の攻撃に、泣き寝入りせず、名中センターに相談。たまたか決意をした二人の思いを受けて「守る会」が発足、裁判をたたかいたが、栄総行動や本社要請など取り組んで来しました。

そのたたかいが実を結び、裁判所の和解勧告により和解が成立し、四月から石原さんが、七月には伊藤さんが職場復帰し全面解決をしました。

職場にもどった二人は、喜びの中にも、これからも職場と「守る会」の仲間たち



夏の燕岳から燕山荘を見る



夏山で多いかわんな「チングルマ」